

膜誌論文賞のお知らせ

日本膜学会は2014年より膜誌論文賞を創設いたしました。膜誌に掲載された論文の中から、審査委員会において厳正な審査を行い、各発行年ごとに選定します。対象となる論文は原著論文です。会員の皆様からの積極的な投稿をお待ちしております。

なお、2017年発行膜誌論文賞の受賞は、下記の通りです。

日本膜学会会長 松山秀人

<生体膜・境界領域>

論文題目

“保存赤血球におけるATP濃度とホスファチジルセリン表在化赤血球率の検討”

掲載誌

MEMBRANE, 42(4), 153-157(2017)

著者

伊藤実紀子・新敷信人・高桑雄一*
東京女子医科大学 生化学教室

<人工膜>

論文題目

“スweep式向流型膜モジュールを用いた高効率ガス分離プロセスの設計”

掲載誌

MEMBRANE, 42(5), 213-220 (2017)

著者

原谷賢治・吉宗美紀*
国立研究開発法人産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門 膜分離プロセスグループ

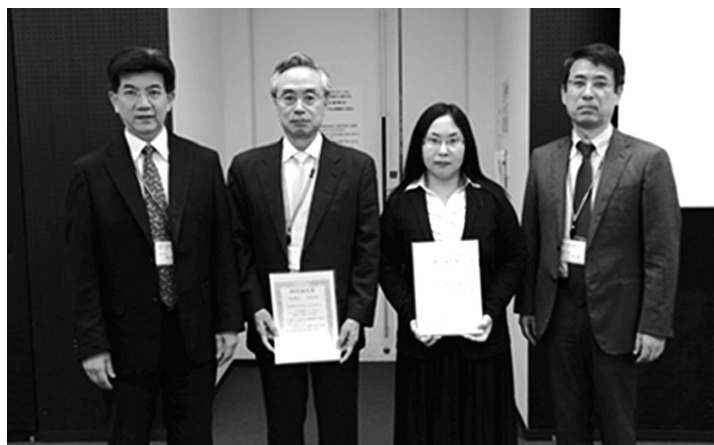
膜誌論文賞審査委員会

委員長 松山秀人

審査委員

生体膜・境界領域：岡村美恵子・奥野貴士・小暮健太郎・中野 実・丸中良典・森田真也

人工膜：赤松憲樹・川上浩良・高羽洋充・中村一穂・野村幹弘・吉岡朋久



5月9日、日本膜学会総会にて2017年発行膜誌論文賞表彰式が行われました。

2017年発行膜誌論文賞受賞式

(写真提供：首都大学東京)